

第 1 学年 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成 20 年 6 月 11 日(水) 1 時 30 分～ 教室
2. 題材名 「いろいろたべよう」(学校給食と望ましい食習慣の形成)
3. 題材について

落ち着いたある子どもたちが多いクラスである。小学校に入学し、新しいクラスで様々なことに一生懸命取り組もうとしている様子がうかがえる。

4 月に行った保護者との個別懇談で、給食について心配だという声が聞かれた。家では牛乳を飲まない、好き嫌いが激しい、野菜が苦手、食が細い、などといった状態なので、学校で給食をしっかりと食べることができるか心配だ、という声である。入学前に取った保護者へのアンケートにも、学年全体で 10 家庭ほどから、不安がある、という回答がよせられた。

給食が始まると、子どもたちは最初、給食にとても興味を持ち、普段家庭で自分からは手を伸ばさないおかずも食べる、といった様子が見られた。しかし次第に、牛乳を飲んだだけでお腹がいっぱいになっておかずが食べられなくなったり、時間はあるのに食べ慣れない献立には手をつけなかったり、といった様子が見受けられるようになった。

入学前の子どもたちは食事に対する経験が様々である。幼稚園や保育園で給食を経験した子どももいれば、残さず食べられるようにと保護者が工夫を凝らしたお弁当を食べてきた子どももいる。牛乳を飲む機会が少なかった子どももいれば、食が細くていろいろな献立を経験できなかった子どももいる。小学校の給食に興味を持つと同時に少なからず不安を持つのは、そういった今までの経験も関係しているのではないかと思われる。

現在、日常の給食指導では、食事に対する関心を高めるための献立名紹介や給食クイズを継続的に行っている。また、食べ始める前に、よそられた分量が多い子どもは分量を減らす時間を設け、不安を取り除くようにしている。今回の授業を通して、いろいろ食べることの大切さを知り、望ましい食習慣を身につけようとするきっかけにしたいと考える。授業の中に栄養職員からの専門的な話を取り入れることで、新たな気付きと、実践への意欲を引き出したい。また、保護者へアンケートの協力を依頼し、家庭との連携をはかりながら学習を進め、日常の実践化へとつなげていきたい。

4. 評価規準

| 活動への関心・意欲、問題の気づき | 集団の一員としての思考・判断 | 自主的・実践的な活動・態度 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校の生活上の諸問題にかかわって、自己の課題を見出そうとしている。 ・日常の生活や学習に自ら適応しようとするとともに、健康で安全な自己のよりよい生活を目指そうとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人及び集団の一員として必要とされる資質・能力、健全な生活を送ることの大切さなどについて理解し、自己のめあてを立てるなど、望ましい在り方などについて考え、判断している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の課題について、設定した具体的なめあてに基づきながら、自主的に解決を図ったり、望ましい行動を実践したりする。 |

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

| 活動の場 | 児童の活動 | 評価()と支援() | 資料 |
|-------------|---|--|---|
| 給食後 6月6日 | <ul style="list-style-type: none"> ・給食を食べた事を振り返り、残さず食べた献立の数だけカードに色を塗る。 ・食べ物の好き嫌いについて保護者と一緒に考え、アンケートに記入する。 | <p>給食で苦手な食べ物や食べ残すものがあることに気づくようにする。</p> <p>毎日完食した献立の数だけカードに色を塗っている。</p> <p>自分の好きな食べ物や嫌いな食べ物について考えようとしている。</p> <p>[活動への関心・意欲、問題の気づき]</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・カード「きゅうしょくぺりしよう」 ・アンケート |

(2) 本時の活動

ねらい

いろいろ食べることの大切さを知り、進んで食べようとする。

展開

| | 活動と内容 | 評価()と支援() | 資料 |
|----|--|--|--|
| 導入 | <p>1. 食べ物の好き嫌いアンケートの結果を見て、気づいたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 嫌いな食べ物は野菜が多い。 自分は好きなものでも、友達は苦手なものもある。 | <p>友達の中には苦手な食べ物がある人がいることに気づき、興味を持って学習できるようにする。 苦手な食べ物がある友達がいることに気づく。 (活動への関心・意欲、問題の気づき)</p> | <p>・食べ物に対するアンケートの結果</p> |
| 展開 | <p>2. 「三びきのこぶた」の紙芝居を見て、気がついたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 三びきのこぶたたちの運動会の様子がどうだったのかを思い出し、どうしてそうなったのかを考える。 自分の給食での様子や家庭での食事の様子などをふり返る。 <p>3. いろいろ食べることの大切さについて、栄養職員の話聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな食品にはそれぞれの働きがあることを知り、いろいろ食べることの大切さが分かる。 | <p>三びきのこぶたそれぞれの食事の違いに気づくようにする。 食べ物との関係について考える。 (集団の一員としての思考・判断)</p> <p>給食の献立をバランスよく食べることの大切さや、食べ物の働きなどについて、当日の献立を例に話す。</p> | <p>・紙芝居 ・赤・黄・緑の掲示カード</p> <p>・食品カード</p> |
| 終末 | <p>4. 明日の給食の献立と、使われている食品を確認し、少しでも食べてみようと思うものに色を塗る。</p> | <p>献立と食品を示し、苦手な献立や食品でも、少しでも食べようとする意欲が持てるよう、声をかける。 進んで食べようとする意欲を持つ。 (自主的・実践的な活動・態度)</p> | <p>・めあてカード</p> |

(3) 事後の活動

| 活動の場 | 児童の活動 | 評価()と支援() | 資料 |
|------|---|---|--------------------------|
| 給食時間 | <ul style="list-style-type: none"> 学習したことを思い出しながら、いろいろな食品を食べる。 | <p>苦手な食品や献立でも、少しでも食べてみようとする意欲が持てるよう、声をかける。</p> | |
| 給食後 | <ul style="list-style-type: none"> 「きゅうしょくぺろりしょうパート2」に食べた献立の数だけ色を塗る。 | <p>いろいろな食品をバランス良く食べようとする。 (自主的・実践的な活動・態度)</p> | <p>・きゅうしょくぺろりしょうパート2</p> |